

平成28年度 第1回

# 鳥栖市文化財保護審議会

1. あいさつ
2. 議 題
  - (1) 鳥栖駅舎について  
・鳥栖駅周辺整備について
  - (2) 平成27年度事業報告
  - (3) 平成28年度事業計画
3. その他

日 時 平成28年5月12日(木)  
午前9時30分～

場 所 鳥栖市役所2階第1会議室

鳥 栖 市 教 育 委 員 会

## 1. 鳥栖駅舎について

### (1)文化財保護審議会への諮問事項

現鳥栖駅舎の文化財としての価値の検証(答申)

※鳥栖駅周辺まちづくり基本計画における現駅舎の取り扱い(提案)

### (2)スケジュール

#### ① 文化財保護審議会の開催

上記(1)の答申・提案を10月頃までに行うため、通常会とは別に7～10月中に3回程度会議を開催予定。

#### ② 現鳥栖駅舎の建築物調査の実施

・平成16年に、当時文化財保護審議委員・鳥栖市誌編纂委員の佐藤正彦氏(九州産業大学名誉教授)が伝統的建造物調査の一環として鳥栖駅舎を調査(成果は、鳥栖市誌研究編第6集『鳥栖の建築』(2008)に所収)。

・調査は、主に外観調査。

## 2. 平成27年度事業報告

### (1) 調査

埋蔵文化財包蔵地内における開発行為102件について事前審査を行い、うち66件の確認調査、4件の工事立会を実施した。また、本原遺跡(原町)2件と京町遺跡(本鳥栖町)の3件については本調査を実施し、開発と文化財保護の調整に努めた。<5～10ページ>

平成26年度に引き続き勝尾城筑紫氏遺跡の葛籠城地区重要遺跡確認調査を実施した。

平成26年度に実施した内畑遺跡・姫方遺跡・儀徳遺跡の発掘調査報告書と平成26年度の文化財事業の概要を記した文化財年報を作成した。

### (2) 保護・管理

指定文化財(国2件、県2件、市他14件)等の管理を、所有者や地元団体に委託又は補助を行い、保護に努めた。

文化財防災啓発の一環として、3月29日に永吉町永世神社境内で消防訓練を行った。  
<写真A>

史跡等の管理として赤坂古墳等の下草刈りなどを行い、藤木獅子舞の説明板の修繕を行った。

文化財整理室・収蔵庫の再編の一環として土器や民俗文化財の移動・整理を行った。  
装飾古墳の田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳で、温湿度変化のデータ収集、目視による環境観察を行った(熊本県立装飾古墳館の協力により平成22年12月から継続)。

### (3) 普及・啓発

市重要文化財の268号機関車の公開を、鉄道OB会鳥栖支部と協働で、8月22日、12月13日、2月27日に行い、合計388人の見学者があった。<写真B>

装飾古墳の田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳の一般公開を12月13日に行い、延べ227人の見学者があった。ヒャーガンサン古墳には、これ以外で年間約600人の見学があった。<写真C>

鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座『鳥栖の集落と交通』3を全8回開講し、合計280名の参加があった。<写真D>

勝尾城筑紫氏遺跡を核とする地域の歴史と文化財を活かしたまちづくりを市民と協働して目指す「ふるさと元気塾」を開講し、ボランティアガイドの育成を行った。

市民一般を対象に、市誌編纂のため収集した古文書をテキストにした古文書解読講座を開講し、延べ400人の参加があった。

平成27年度より鳥栖市立図書館において通年の文化財展示を行った。展示の内容については、下表のとおり。<写真E>

	タイトル	期間	内容
1	とす古代人の宝物	5月2日(土) ～6月30日(火)	縄文～古墳時代の遺跡から出土した装身具を中心に展示
2	平成26年度 発掘調査成果展	7月1日(水) ～8月10日(月)	平成26年度に本調査を行った内畑遺跡・姫方遺跡・儀徳遺跡の速報展
3	昔、戦争があった 旧田代町役場文書にみる戦争	8月11日(火) ～10月19日(月)	太平洋戦争時の兵事関係文書の展示
4	国史跡 勝尾城筑紫氏遺跡 よみがえる戦国時代の山城と城 下町跡	10月20日(火) ～展示中	勝尾城筑紫史跡の概要を記したパネルと出土遺物の展示

小中学校教育における総合的な学習の支援を行い、安永田遺跡・剣塚古墳・ヒャーガサン古墳等の史跡、あるいは旭文化財収蔵庫において考古資料や民具類等を公開したほか、郷土の歴史・文化財や自然分野についての質問対応などを行った。<写真F>

#### (4) 勝尾城筑紫氏遺跡

史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区整備に伴う土地公有化事業に着手し、対象地区125,089㎡のうち、1,406㎡について公有化を行い、合計で66,694㎡(約53%)となった。

史跡の整備・管理の一環として、史跡内の樹木伐採・下草刈りを行った。

遺跡見学会を5月17日と11月29日に行い、106名の参加があった。<写真G>

#### (5) 会議

文化財保護審議会は、第1回を6月4日に開催し、平成26年度事業報告と平成27年度事業計画について報告した。第2回は2月10日に開催し、文化財の保存・活用の現状について現地視察を行った。

勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会は、第1回を8月3日に開催し、平成26年度事業報告と平成27年度事業計画、葛籠城地区重要遺跡確認調査の平成26年度実績と平成27年度計画について報告した。第2回は12月25日に開催し、葛籠城地区重要遺跡確認調査の現地視察を行った。



写真 A 文化財防火訓練(永吉町永世神社)



写真 B 268号機関車一般公開



写真 C 田代太田古墳一般公開



写真 D 歴史・文化講座の現地研修



写真 E 文化財調査成果展



写真 F 田代中の総合学習



写真 G 勝尾城筑紫氏遺跡見学会(秋)

平成27年度確認調査により遺構・遺物を検出した地点

	遺跡名	原因者	開発目的	開発予定地	工事面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期日	結果	備考
1	藤木遺跡	個人	個人住宅	藤木町2339番2	206.6	9	5月26日	小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
2	四ツ木遺跡	村瀬正治	太陽光発電	曾根崎町1141番1	2,086.0	141	8月3日	溝、小穴 土師器・須恵器片	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
3	四ツ木遺跡	不動商事	集合住宅	曾根崎町1131-4他	590.3	12	9月9日	溝 土師器片	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
4	元古賀遺跡	個人	個人住宅	古賀町547-1	425.0	12	11月30日	小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
5	岡寺古墳	鳥飼建設	宅地造成	田代本町1379番地他	825.0	95	12月17日	周溝 円筒埴輪片	昭和55年確認調査の一部 遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
6	古賀遺跡	有限会社 福広	集合住宅	古賀町480番4	743.8	70	11月16日	住居跡、小穴 土師器片	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
7	養父遺跡	個人	個人住宅	養父町120番3	513.2	14	2月23日	小穴 土師器片	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
8	本行遺跡	あさひ会	老人ホーム	江島町3256-757他	3,582.0	316	3月14日	土坑 弥生土器片	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
9	長ノ原遺跡	個人	宅地造成	永吉町548-1	319.0	22	3月22日	住居跡、小穴 土師器片	計画決定後、届出
10	勝尾城筑紫氏遺跡	鳥栖市	重要遺跡 確認調査	山浦町字中原3180他3筆	—	60	11月2日 ～2月9日		整備に伴う調査



## 本原遺跡

【所在地】 原町字本原 1026-1、1026-5、1029-1、1029-6

【遺跡の時代】 弥生時代、古墳時代 【種類】 集落跡

【調査面積】 約 2000 m<sup>2</sup>

【事業の原因】 宅地造成、共同住宅建設

【調査期間】 平成 27 年 8 月 24 日～11 月 12 日

### 【調査の概要】

当該調査区は、田代新町から南に延びる丘陵の先端付近の標高約 11m に立地する。現況は畑地だが、戦後には果樹園として利用されていた。

周辺では、北東で県営団地建設に伴う調査で江戸時代後期と古墳時代終末期の集落跡が検出されている。また、南の下原遺跡内で店舗建設に伴う調査において、弥生時代中期の集落跡と墓地跡が検出されている。

今次調査の結果、丘陵の尾根に当たる調査区東側は掘削されているようで、調査区西側の斜面地で遺構を検出した。尾根部では、弥生時代の溝跡 1 条と時期不明の土坑を検出したが、溝跡からは弥生時代後期の壺が 1 点、土坑からは須恵器片などが出土した。西側の斜面地では古墳時代の住居跡 6 軒、その他時期不明の溝跡 4 条、土坑 13 基を検出し、多くの須恵器片、土師器片などが出土した。弥生時代と古墳時代の集落跡であったことが明らかとなった。

なお、今次調査に先立ち、東に隣接して個人住宅建設に伴い 7 月 15～28 日に本調査を実施し、ピット等を検出した。



本原遺跡 3 区全景（北上空から）



弥生時代の溝跡（南から）



古墳時代の住居跡（北から）

## 京町遺跡

【所在地】 本鳥栖町字下鳥栖 633 番 42

【遺跡の時代】 弥生時代～中世 【種類】 集落跡

【調査面積】 約 500 m<sup>2</sup> 【事業の原因】 共同住宅建設

【調査期間】 平成 28 年 2 月 1 日～3 月 25 日

### 【調査の概要】

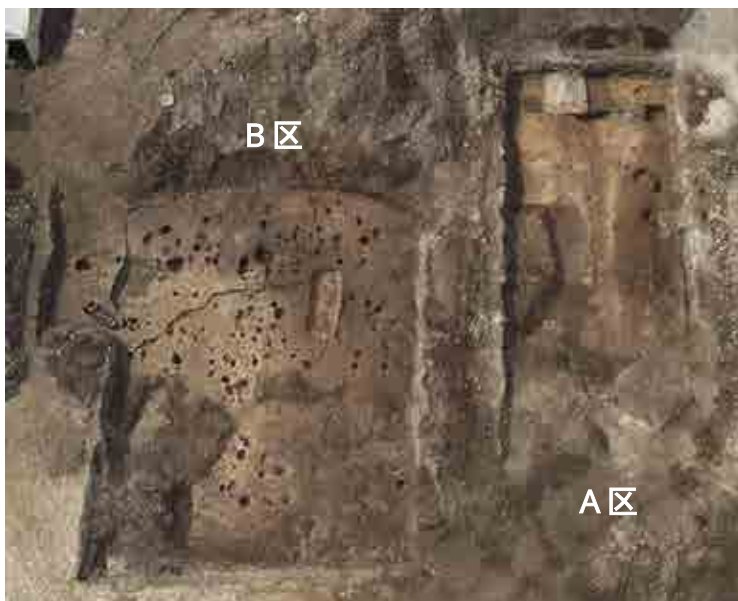
遺跡は、鳥栖駅の北西に位置し、大木川右岸の九千部山系から南東に派生する中～低位丘陵の縁辺部、標高約 20m に立地する。周辺には同丘陵に載る藤木遺跡、今泉遺跡、内畑遺跡が存在する。

今回の調査は京町遺跡 4 区となるが、西側は平成 7 年度に発掘調査を行い、弥生時代と古墳～奈良時代、中世後期の集落遺跡を検出した京町遺跡 1、2 区である。現況は、酒造工場であった。

調査の結果、弥生時代中期の土坑 2 基、溝 2 条、中世（鎌倉～室町時代）の土坑 2 基と多数の柱穴を検出した。

遺物は、弥生土器、陶磁器（白磁・青磁）、土師器、中国銭等が出土した。特に、土坑（SK02）から鍔口の口縁で内面に線刻の蓮弁文を施した中国龍泉窯系の青磁盤と見込に「金玉満堂」と推定される陰刻のある龍泉窯系の青磁碗が出土した。その他に中国宋代の貨幣（銅銭）の「至道元寶」が 1 点出土した。

なお、発掘調査は現在も継続中で、本年度 5 月中の終了見込みである。



京町遺跡 4 区全景(東上空から)



(上)青磁盤 (下)宋銭



## 勝尾城筑紫氏遺跡 葛籠城跡地区（重要遺跡確認調査）

【所在地】 山浦町字中原 3180 番 1 他 3 筆

【遺跡の時代】 中世

【種類】 城郭

【調査面積】 60 m<sup>2</sup>

【事業の原因】 整備事業に伴う調査

【調査期間】 平成 27 年 11 月 2 日～2 月 9 日

### 【調査の概要】

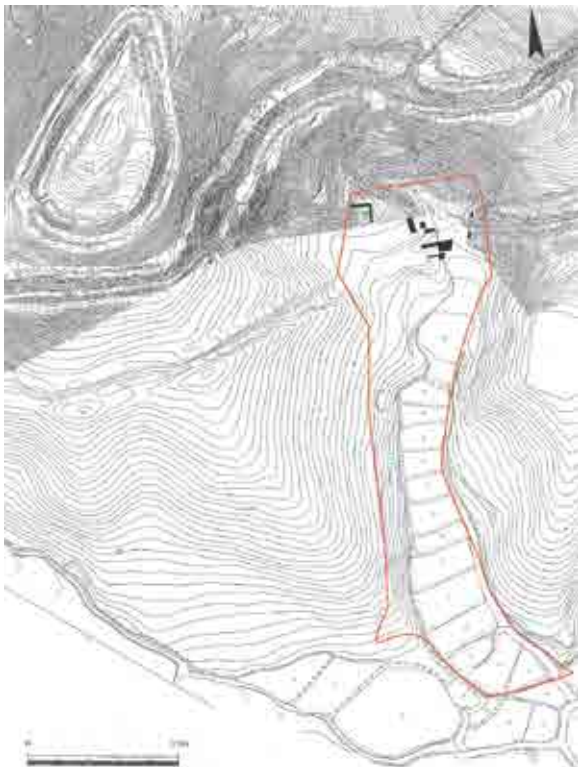
昨年度に引き続き、主郭の南東谷部の調査を行った。調査の方針は下記のとおりである。

土塁が途切れている箇所の状況把握。  
入口などの付帯施設の把握。

土塁は途切れることなく、東西に続くことが判明し、土塁・溝は粘質土埋土で覆われる。また水路が空堀へ流れ込む構造となっており、随時、水が溜めていたようである。堰的な役割を果たしていたと推測される。

溝に直交している台形状の土橋を確認した。空堀を掘削する際に作られたと思われ、石張りが施され、城内へとつづく進入路である。また土塁上には礎石や柱穴？を見ることができ、柵列の存在が推測できる。

城内に続く道は確認することはできなかったが、里道の一部から石敷きが見られ、進入路との関連が指摘される。



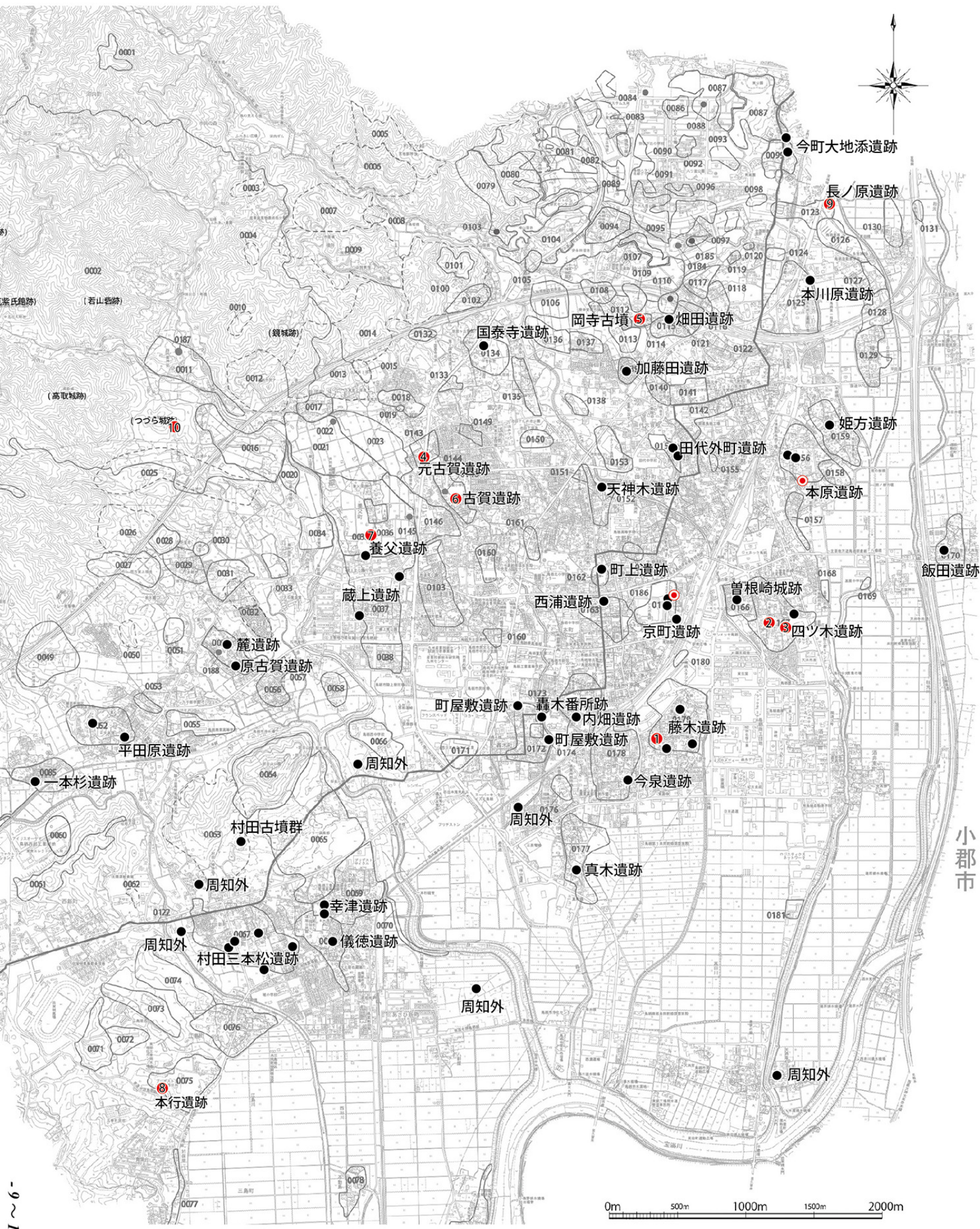
トレンチ配置図



上：空堀・土塁 下：進入路及び空堀



平成27年度市内確認調査位置図



小郡市

0m 500m 1000m 1500m 2000m



## 2. 平成28年度事業計画

### (1)調査

- ① 市内各地に分布している埋蔵文化財について、開発に際し事前の確認・試掘調査を実施して開発との調整を図り、その保護に努める。
- ② 昨年度末から発掘調査を実施している京町遺跡(本鳥栖町)について、引き続き発掘調査を実施したのち、昨年度に発掘調査を実施した本原遺跡(原町)とともに整理を行い、報告書を作成・刊行する。
- ③ 文化資源充実事業については、調査手法の検討を進め、可能なところから調査や資料の収集を行う。

### (2)保護・管理

- ① 文化財の保存管理として、国・県・市指定文化財を中心に史跡・民俗芸能等に対し、所有者や地元団体に委託あるいは補助金の交付を行うとともに、道具類の補修・新調に対する補助を必要に応じて行い、これらの保存に努める。
- ② 史跡等の保全管理について、下草刈りや雑木の伐採、あるいは案内板の点検等を適時行い、見学者の利便を図る。
- ③ 過去の調査で出土した遺物類や記録、あるいは市誌編纂事業の過程で収集した資料の取り扱いについて、整理を進めるとともに、保存活用方法の検討を行う。
- ④ 整理室の再編と収蔵遺物の再整理を継続して行う。

### (3)啓発・普及

- ① 文化財常設展示を鳥栖市立図書館で継続して行う。その一環として、平成27年度に発掘調査を実施した本原遺跡、京町遺跡の成果を、7月から展示公開する。
- ② 田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳・268号機関車等の一般公開、勝尾城筑紫氏遺跡の見学会等の開催、小中学校における総合的な学習の支援、一般向けの出前講座等により、広く郷土の歴史・文化や文化財の周知・理解に努める。
- ③ 市民を対象にした「鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座」「郷土資料講座」を開講する。歴史・文化講座は、「鳥栖の集落と交通」をテーマとして全8回の座学と現地見学を行う(P12)。郷土資料講座は、市内の古文書を教材として初心者コースと中・上級者コースを開講する。
- ④ 歴史と文化財を活かしたまちづくりを目指して、市民と協働した「ふるさと元気塾」を開

講し、史跡ガイドの育成等に努める。

#### (4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区の公有地化を進めるとともに、整備地区での遺構等の状況を確認する調査を実施する。
- ② 史跡の保全管理と、葛籠城を中心に現況調査を行う。

### 平成28年度鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座年間計画

回	日時	内容	会場／集合
1	6月5日(日) 13:30～16:00	「本町(瓜生野本町)を歩く」 (見学先)本町周辺の史跡めぐり	鳥栖北まちづくり 推進センター
2	7月2日(日) 13:30～15:30	「本町(瓜生野本町)の成り立ちとくらし」 ■講師 高尾 平良 氏(鳥栖市文化財保護審議会)	鳥栖北まちづくり 推進センター
3	8月7日(日) 13:30～15:30	「鳥栖以降の筑紫氏」 ■講師 高尾 平良 氏(鳥栖市文化財保護審議会)	鳥栖市立図書館
4	9月11日(日) 8:30～17:00	「八女周辺の史跡探訪」 (見学先)福島城跡、山下城跡、岩戸山古墳	鳥栖市役所 職員玄関前
5	10月2日(日) 13:30～15:30	「筑紫君磐井の乱と鳥栖地域」 ■講師 藤瀬 禎博 氏(鳥栖郷土研究会)	鳥栖市立図書館
6	11月19日(土) 13:30～15:30	「酒井西村・東村の成り立ちとくらし」 ■講師 藤瀬 禎博 氏(鳥栖郷土研究会)	基里まちづくり 推進センター
7	12月4日(日) 13:30～16:00	「酒井西町・東町を歩く」 (見学先)酒井西町・東町周辺の史跡めぐり	酒井東町 宝満神社
8	1月9日(日) 13:30～15:30	「くらしの中の年中行事」 ■講師 牛島 啓爾 氏(鳥栖郷土研究会)	鳥栖市立図書館